

令和2年度消費生活モニター 第3回 アンケート集計

1 調査趣旨

I 消費生活とごみの減量・リサイクルについて

川崎市では、平成25年9月からプラスチック製容器包装の分別収集の全市拡大と普通ごみの収集回数を週2回に変更した結果、市の人口が150万人を突破した状況の中においても、平成29、30年度と2年連続で1人1日あたりのごみ排出量が、政令市最少となりました。

今後も地球環境にやさしい持続可能なまちの実現をめざして、エコ暮らしを実践し、さらに3R（アンケート問2の解説を参照）を推進することが求められています。

そこで、今回は、川崎市のごみの減量・リサイクルの取組を知っていただくとともに、ごみに関する消費者の実態と意識を調査し、今後の行政の参考資料とするためにアンケートを実施いたします。

II 省エネ・節電等について

川崎市では、日常生活の中で一人ひとりが工夫し、無駄な電力を使わないことや先端技術の活用等により、スマートなライフスタイルを定着させていくことで、二酸化炭素（CO₂）の削減や地球温暖化防止の取組を進めています。

今回は、このようなスマートライフスタイルの定着に向け、省エネや節電等に関する意識を調査し、今後の施策の参考とするため、アンケート調査を実施いたします。

- | | |
|--------|--|
| 2 調査事項 | 「消費生活とごみの減量・リサイクルについて」
「省エネ・節電等について」 |
| 3 調査対象 | 令和2年度川崎市消費生活モニター 17名
(回答者数16名・回収率94%) |
| 4 調査方法 | 郵送または電子メールによる |

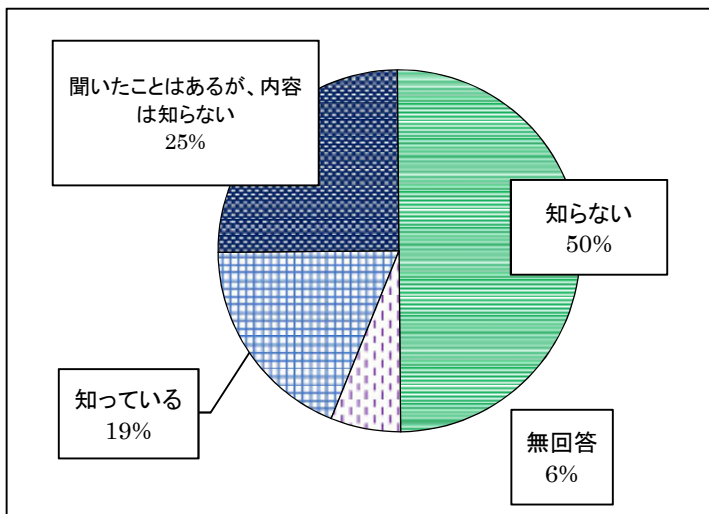
- 集計結果について、四捨五入の結果によって合計が100%とならない場合がございます。
- 調査結果中の「回答者数」は「調査対象者」から「未提出者」を除いた数としました。
- 回答は一部抜粋。



I 消費生活とごみの減量・リサイクルについて

【問1】 環境に配慮した行動をする消費者のことを「グリーンコンシューマー」と呼んでいますが、その行動などについて伺います。

(1) グリーンコンシューマーを御存知ですか。

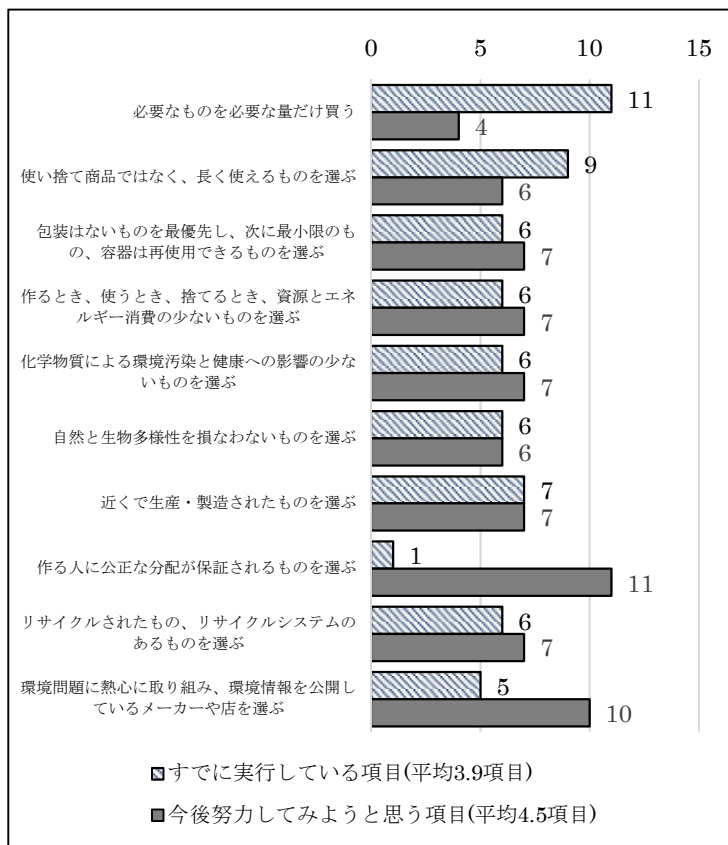


“グリーンコンシューマー”とは、一般的には、環境に良い商品を選んで買う意識の高い消費者、さらに価格が高くても環境に良い商品を買う消費者、環境にとって良い企業活動を行うように監視する消費者、環境に悪い商品や企業を拒否する消費者の総称として用いられています。

★「知らない」「聞いたことはあるが、内容は知らない」と回答した方が、「知っている」と回答した方を上回る結果となりました。

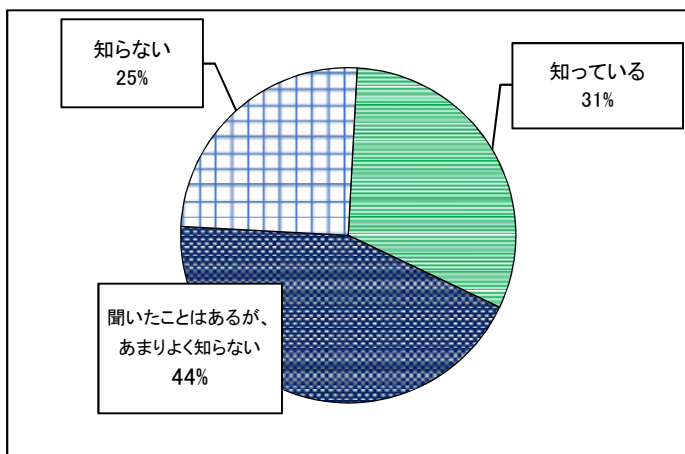
(2) グリーンコンシューマー10原則の中で、【既に実行している項目】【今は実行していないが、今後努力してみようと思う項目】が、あれば回答欄に○印をしてください。(複数回答可)

グリーンコンシューマー10原則	
※ グリーンコンシューマー全国ネットワーク著「グリーンコンシューマーになる買い物ガイド」より	
1	必要なものを必要な量だけ買う
2	使い捨て商品ではなく、長く使えるものを選ぶ
3	包装はないものを最優先し、次に最小限のもの、容器は再使用できるものを選ぶ
4	作るとき、使うとき、捨てるとき、資源とエネルギー消費の少ないものを選ぶ
5	化学物質による環境汚染と健康への影響の少ないものを選ぶ
6	自然と生物多様性を損なわないものを選ぶ
7	近くで生産・製造されたものを選ぶ
8	作る人に公正な分配が保証されるものを選ぶ
9	リサイクルされたもの、リサイクルシステムのあるものを選ぶ
10	環境問題に熱心に取り組み、環境情報を公開しているメーカーや店を選ぶ



【問2】 川崎市では、地球環境にやさしい持続可能なまちの実現をめざして、「ごみ減量 未来へつなげるエコ暮らしプラン（＝川崎市一般廃棄物処理基本計画）」を策定し、取組を進めています。

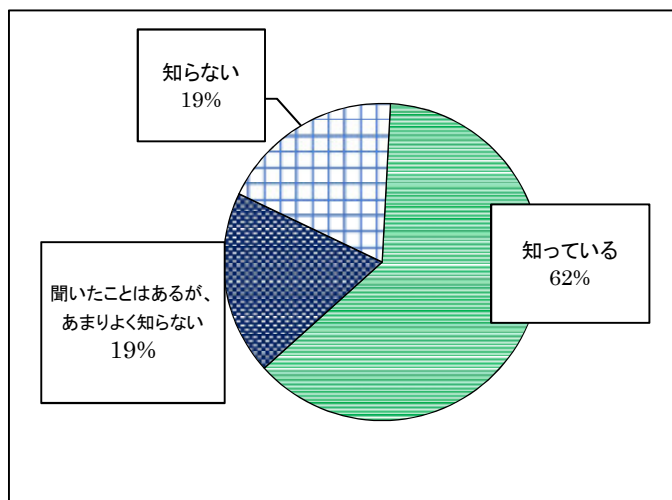
(1) あなたは、“エコ暮らし”という言葉を知っていますか。



“エコ暮らし”とは、ごみの発生抑制に資する生活や活動、節電などの省エネ行動、庭や花壇の緑化の推進など、日々の暮らしの中で、環境に配慮した行動を積み重ねていくことです。

★「聞いたことはあるが、あまりよく知らない」「知らない」と回答した方が、「知っている」と回答した方を上回る結果となりました。

(2) あなたは、“3R”という言葉を知っていますか。



“3R”とは、Reduce（リデュース）⇒発生・排出抑制：物を大切に使い、ごみを減らすこと。Reuse（リユース）⇒再使用：使える物は繰り返し使うこと。Recycle（リサイクル）⇒再生利用：ごみを資源として再び利用すること。の言葉の頭文字の3つのRのことです。

★「知っている」と回答した方が、「聞いたことがあるが、よく知らない」「知らない」と回答した方を上回りました。

かわさき 3R 推進キャラクター。生まれも育ちも川崎で、3Rの大切さを伝える妖精です。耳と体の3つのRで「3R」を表しています。

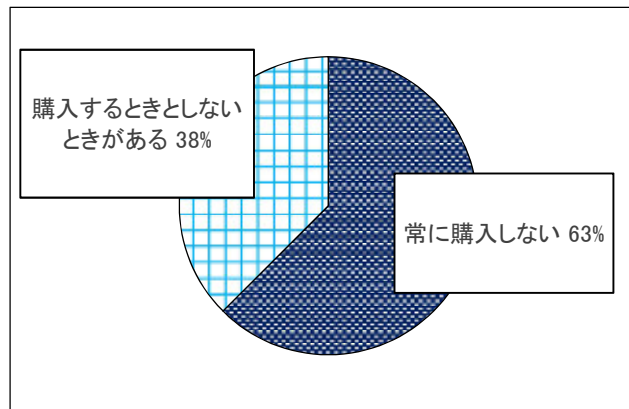


かわるん

【問3】 不要なレジ袋の削減は、日常生活の中で最も身近で誰でも取り組むことができる環境に配慮した行動です。地球温暖化対策の推進と循環型社会を構築するために、レジ袋はもらわない、配らないといった市民・事業者の身近な行動が重要です。令和2年7月1日から、全国でプラスチック製買物袋の有料化がスタートしました。今後も、環境配慮型ライフスタイルの確立に向けた取組の一つとして、市民・事業者・行政の協働によるレジ袋の削減やマイバッグの使用等の取組を促進するため、次のことについて伺います。

(1) 買い物の時に有料のレジ袋を購入していますか。

- ① 常に購入する 0%
- ② 常に購入しない 63%
- ③ 購入するときとしないときがある . . . 38%

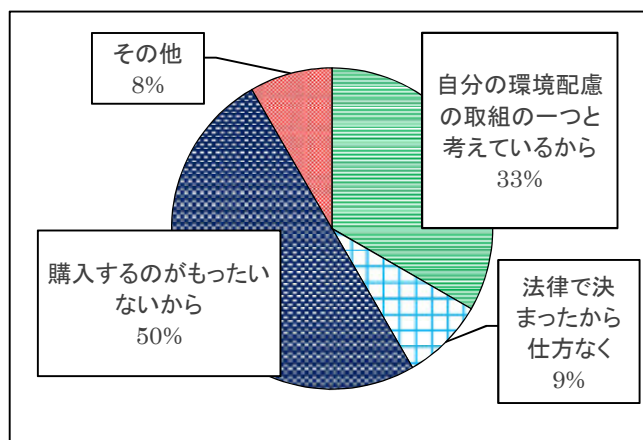


(2) (1)でレジ袋を ① 常に購入する と答えた方にお伺いします。レジ袋を購入する理由は何ですか。

※「①常に購入する」と回答した方は0名でした。

(3) (1)でレジ袋を ② 常に購入しない と答えた方にお伺いします。レジ袋を購入しない理由は何ですか。

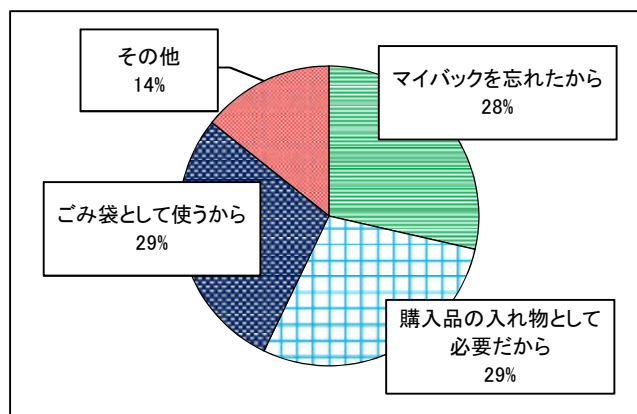
- ① 自分の環境配慮の取組の一つと考えているから
- ② 法律で決まったから仕方なく
- ③ 購入するのがもったいないから
- ④ その他
 - ・以前からエコバックを使用している



(4) (1)でレジ袋を ③ 購入するときとしないときがある と答えた方にお伺いします。

レジ袋を購入するときの理由は何ですか。

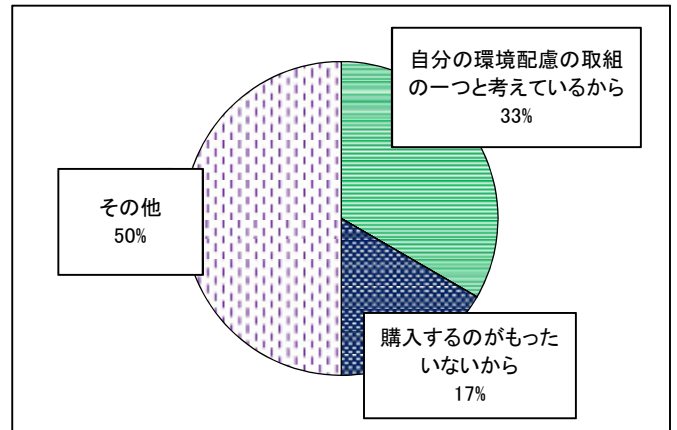
- ① マイバッグを忘れたから
- ② 購入品の入れ物として必要だから
- ③ ごみ袋として使うから
- ④ その他
 - ・買物の品が持参したマイバッグに入りきれず、仕方なく購入する時がある。



(5) (1)でレジ袋を ③ 購入するときとしないときがある と答えた方にお伺いします。

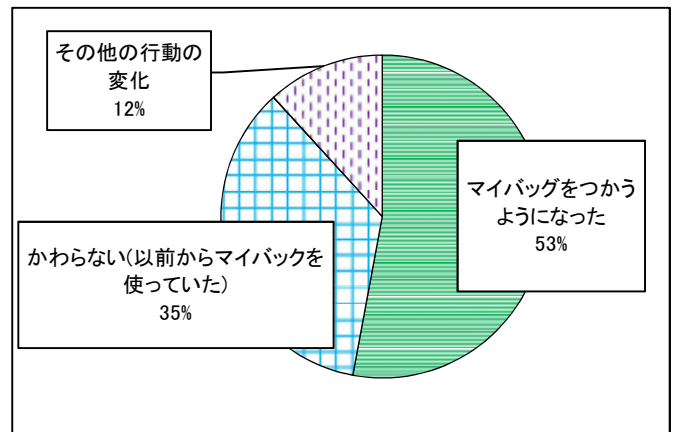
レジ袋を購入しないときの理由は何ですか。

- ① 自分の環境配慮の取組の一つと考えているから
- ② 法律で決まったから仕方なく
- ③ 購入するのがもったいないから
- ④ その他
 - ・ 持参したマイバックで十分に買物した品が入る。



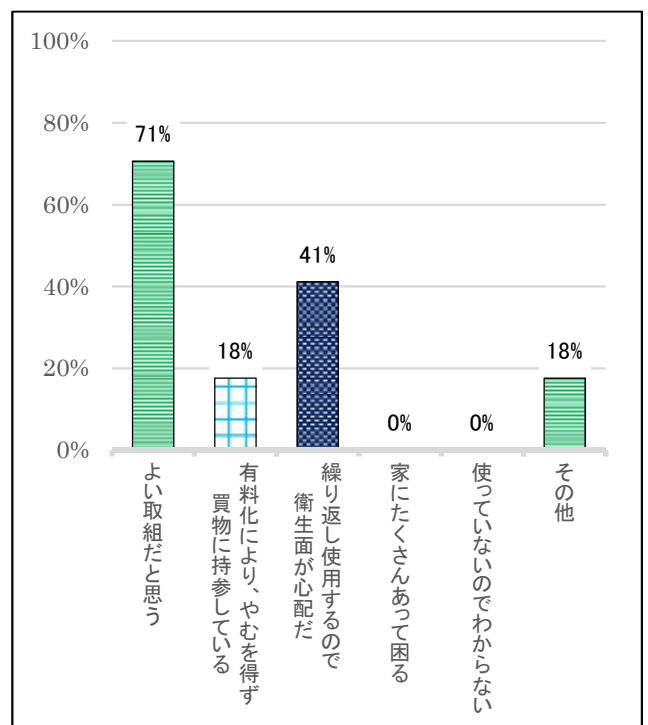
(6) レジ袋の有料化（令和2年7月1日）をきっかけに、行動に変化はありましたか。（複数回答可）

- ① マイバッグを使うようになった
- ② かわらない
(以前からマイバッグを使っていた)
- ③ かわらない
(有料袋を購入している)
- ④ その他の行動の変化
 - ・ マイバックに入る量を考えて、買物をするようになった。



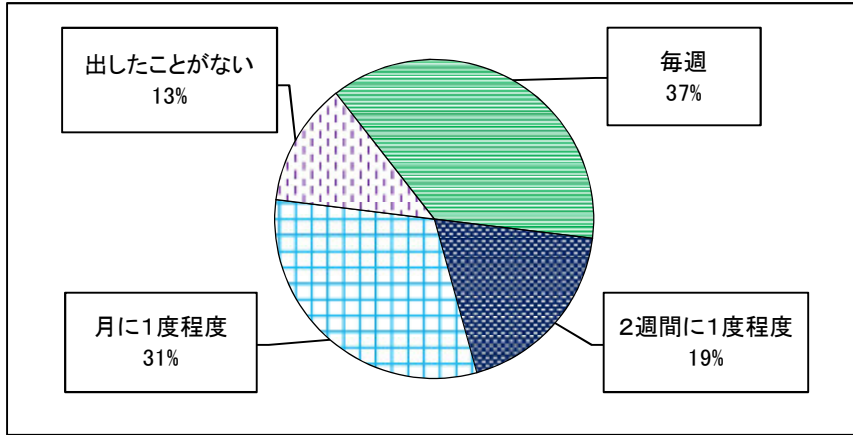
(7) マイバッグの使用について、お考えをおきかせください。（複数回答可）

- ① よい取組だと思う
- ② レジ袋の有料化により、やむを得ず買物に持参している
- ③ 繰り返し使用するので衛生面が心配だ
- ④ 家にたくさんあって困る
- ⑤ 使っていないのでわからない
- ⑥ その他
 - ・ 清潔に使うのは手間がかかる。
 - ・ 用地に応じてのバックを準備しきれていない。
(食品用・服飾用・薬品用など)
 - ・ 肩からかけられるので、重い物が持ちやすく便利。
 - ・ たまにはレジ袋が欲しいと思う時がある。
(ごみ入れやほかの事に使用できるので)
 - ・ 有料化によってゴミの袋（80枚入り）を買うので同じかもしれない。



【問4】 「ミックスペーパー」と「プラスチック製容器包装」の分別収集について伺います。

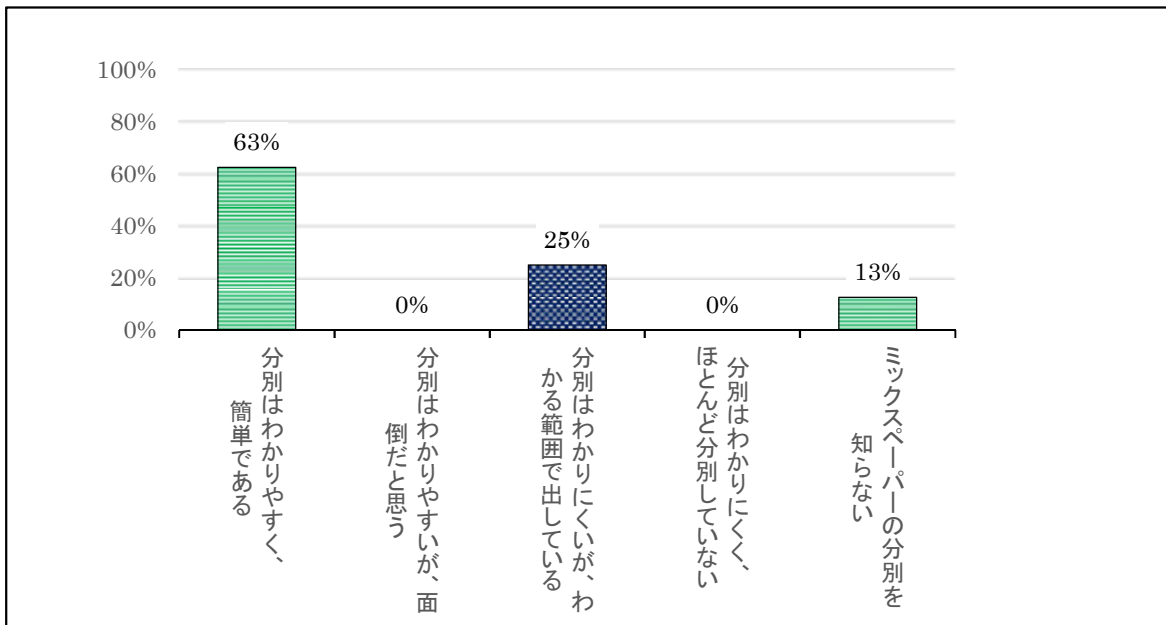
(1) ミックスペーパーをどのくらいの頻度で出していますか。



(2) (1)で ④ 出したことがない と答えた方にお伺いします。該当する理由は何ですか。

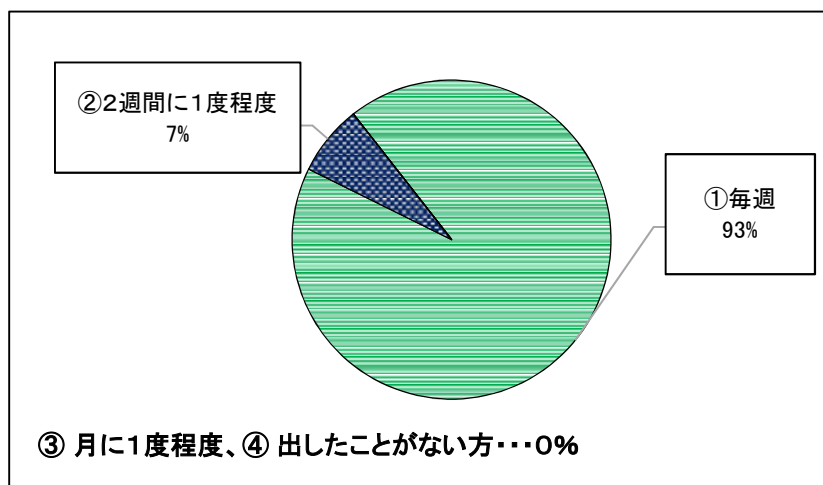
- ① 対象物がないから 6%
- ② 資源集団回収収集日に出しているから 6%
- ③ 分別の方法が分からないから 0%
- ④ その他 0%

(3) ミックスペーパーを分別することをどう感じていますか。



★ミックスペーパーの分別は、約3割の方がわかりにくいと感じている結果となりました。

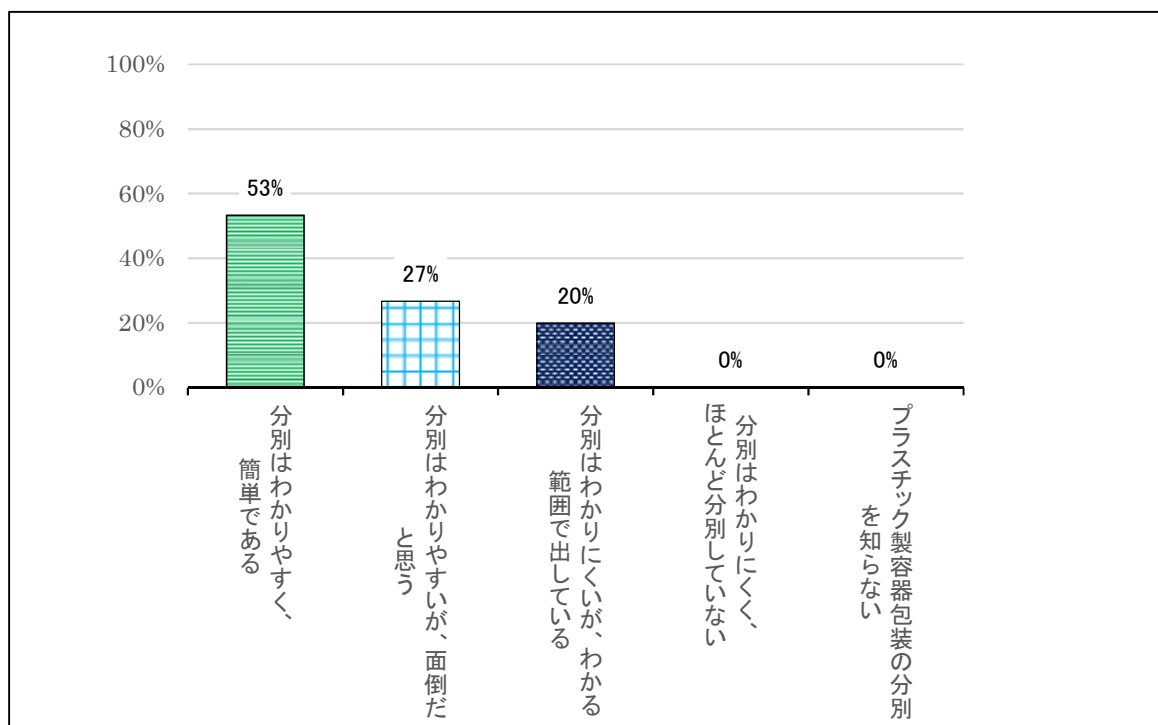
(4) プラスチック製容器包装をどのくらいの頻度で出していますか。



(5) (4)で ④ 出したことがない と答えた方にお伺いします。該当する理由はなんですか。

※「④出したことがない」と回答した方は0名でした。

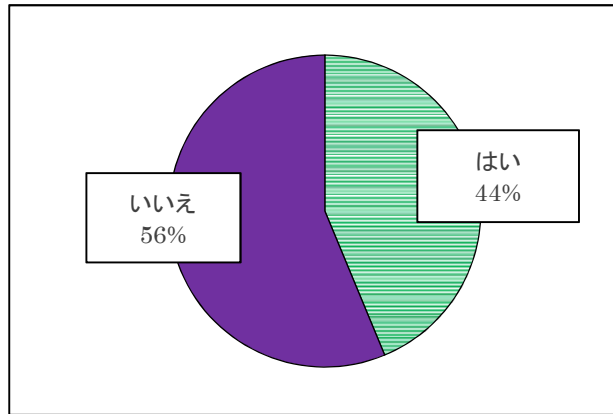
(6) プラスチック製容器包装を分別することをどう感じていますか。



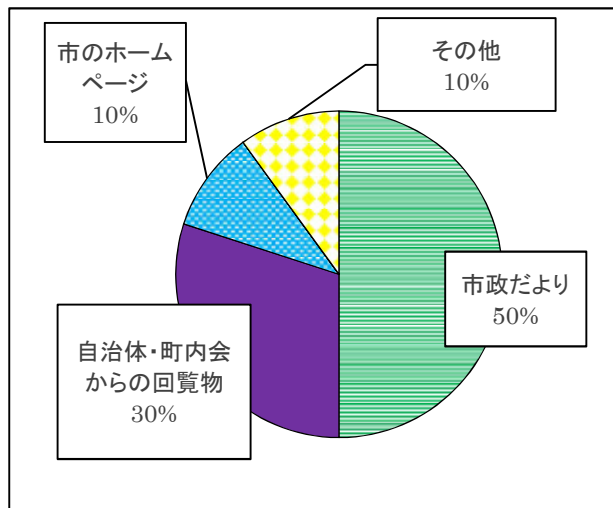
★回答者は概ねプラスチックの分別をしています。分別方法がわかりにくいと感じている方もいるという結果になりました。

【問5】 拠点回収事業について伺います。

(1) 川崎市では、拠点回収事業として、小型家電・布類・牛乳パック・蛍光管・インクカートリッジを区役所等市内公共施設に回収ボックスを設置し、回収していますが、ご存知ですか。



(2) (1)で ① はい と答えた方に質問します。それは、どこでお知りになりましたか。
(複数回答可)



★《その他意見》

- ・区役所に設置してあった（インクカートリッジ）橋りサイクルセンターに行ったときに表示されていたので、古着やバッグなどを提供した。

(3) (1)で ② いいえ と答えた方に質問します。現在、拠点回収場所を次のとおり設置しています。

区役所、支所、出張所、生活環境事業所、ヨネッティー堤根・王禅寺、橋りサイクルコミュニティセンター、かわさきエコ暮らし未来館・王禅寺エコ暮らし環境館、CCかわさき交流コーナー（高津市民館内）
※品目によっては、設置していないものもあり

今後新たに公共施設に設置する場合、どこに設置するとよいと思いますか。

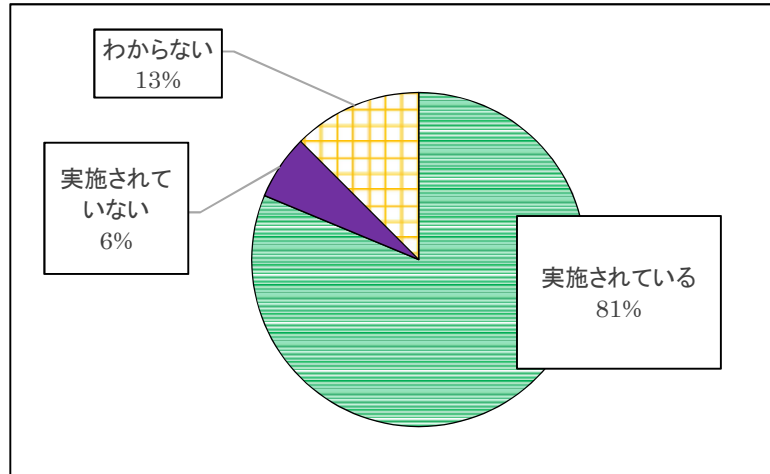
★《設置するとよいと思う場所》

- ・北テラス、図書館、アリーナ、自治会館等、駅前
日常的によく利用し、人目につきやすい場所に設置されれば便利との意見がありました。

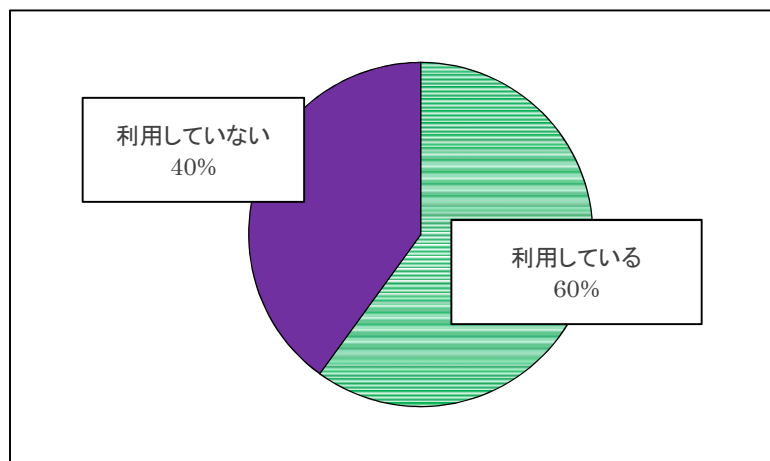
【問6】 資源集団回収についてお聞きします。

『資源集団回収』とは、町内会や自治会、PTA等地域の市民で組織される団体が、回収日時・回収場所を決め、新聞・雑誌・段ボール等の資源化物を自主的に回収し、回収業者に引き渡す活動です。ごみの減量・リサイクル推進のため、地域で行われている『資源集団回収』への御協力をお願いします。

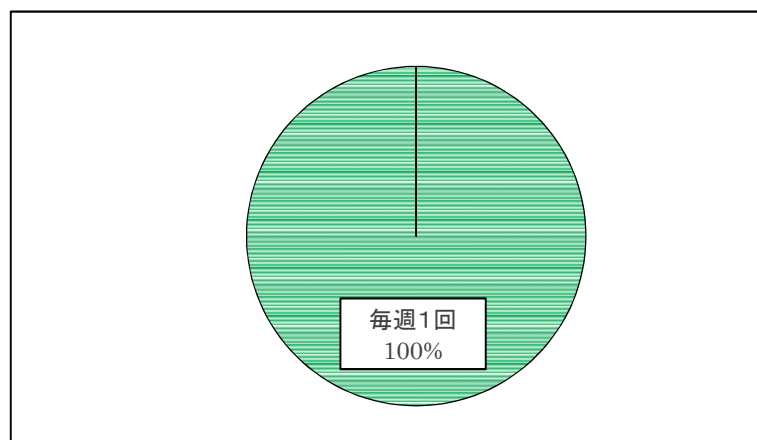
(1) お住まいの地域では『資源集団回収』が実施されていますか。



(2) 地域で行われている『資源集団回収』を利用していますか。

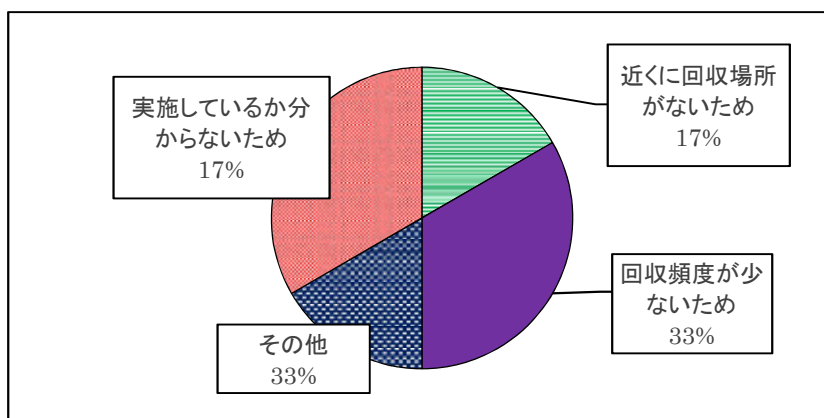


(3) (2)で ① 利用している と答えた方にお伺いします。お住まいの地域の回収頻度を教えてください。



★住んでいる地域で定期的に回収されており、その機会を利用しているという方が多数を占めました。

(4) (2)で ② 利用していない と答えた方にお伺いします。利用していない理由を教えてください。

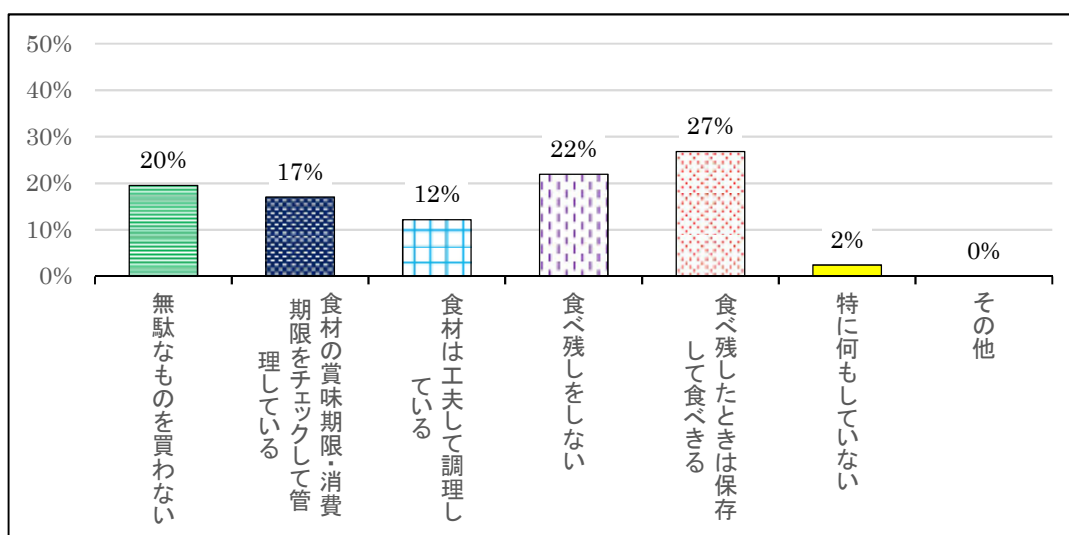


★ 《その他意見》

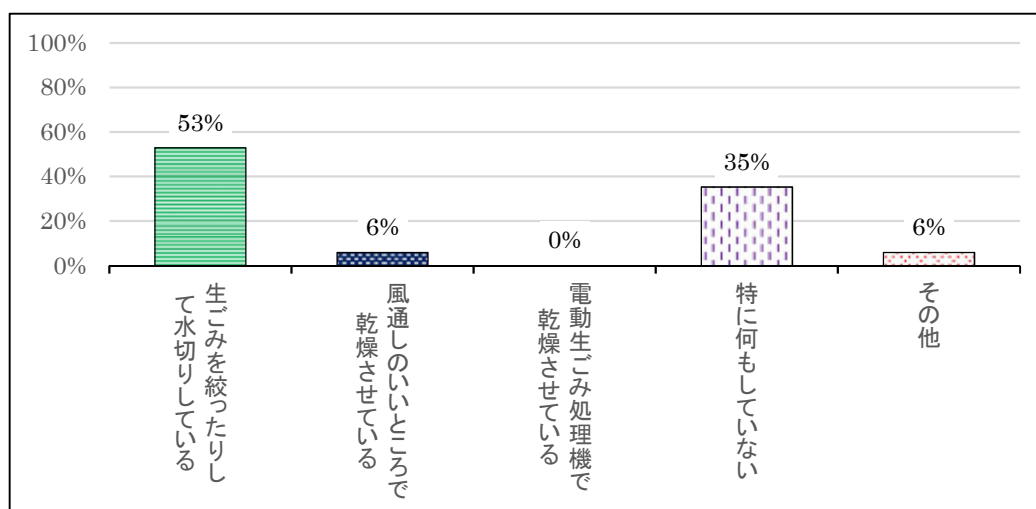
- ・新聞は新聞の業者へ、雑誌や段ボールなどは普通のごみの回収の時に出している。
- ・グループでまとめて出している。

【問7】 生ごみについてお聞きします。

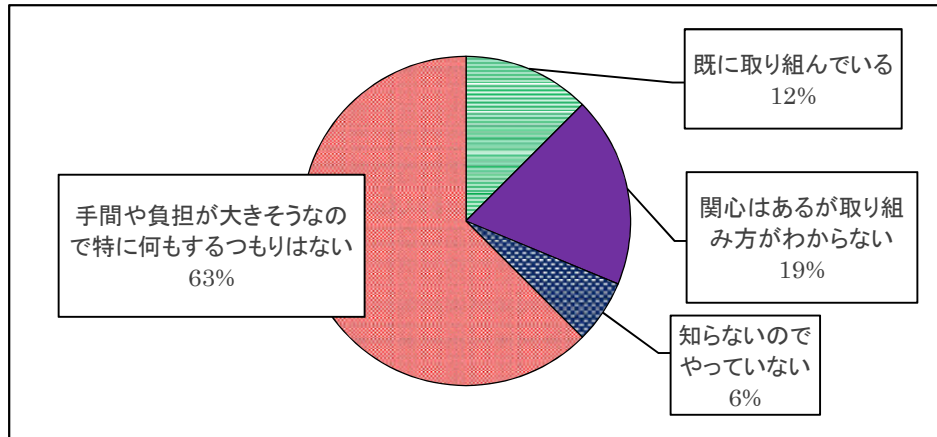
(1) 生ごみの発生量を少なくするために、何か取組をしていますか。(複数回答可)



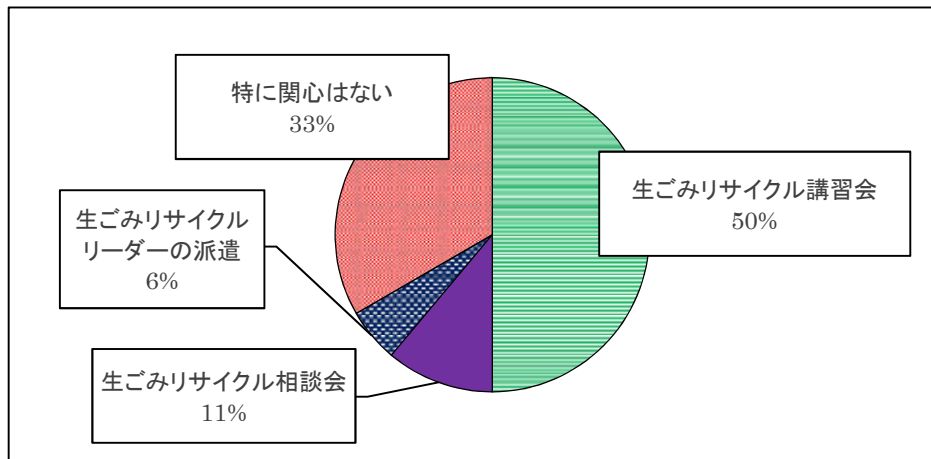
(2) 生ごみの80～90%は水分で、この水分を減らすことで臭いの問題などを軽減でき、運搬に伴う燃料の消費量を減らすことができると言われています。生ごみの水分を減らすために、何か取組をしていますか。(複数回答可)



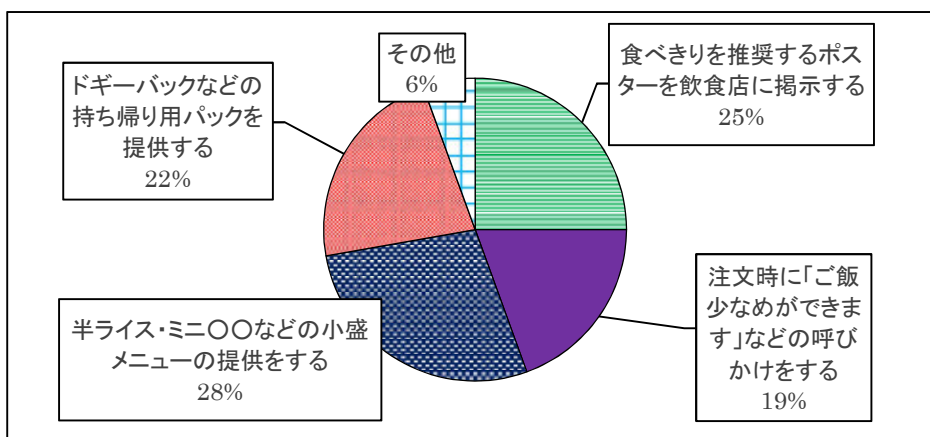
(3) 生ごみはどうしてもごみとして出るものですが、ごみとして出さない取組として、生ごみ処理機やコンポストにより堆肥化するリサイクルがあります。このようなリサイクルをしていますか。



(4) 生ごみの減量化・資源化の取組として、生ごみリサイクルの手法について紹介やアドバイス等を行う取組をしていますが、次のいずれかについて、受けてみたいと思うものを教えてください。（複数回答可）



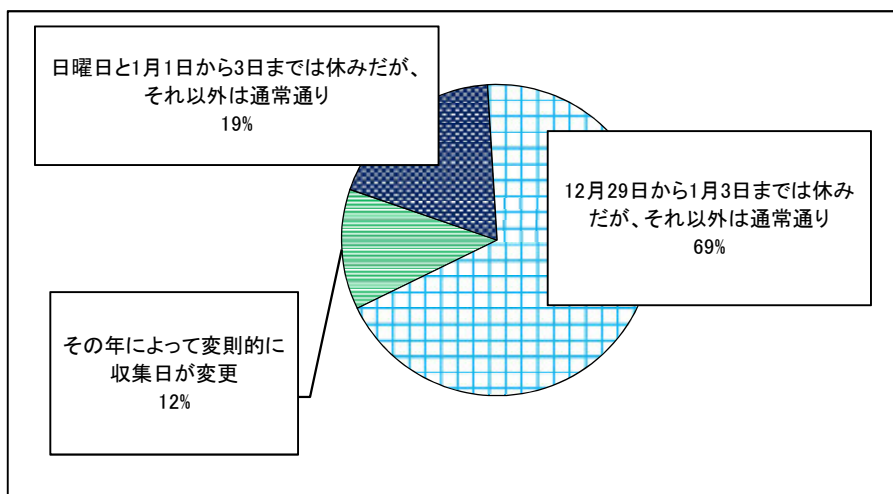
(5) 飲食店からは、食べ残しによる食品廃棄物が多く発生しているため、川崎市では食べきりを推奨している店舗を「食べきり協力店」として認定するなど、食品廃棄物の減量化に向けた取組を実施しています。飲食店での食べ残しを減らすための取組として、どのような取組が有効だと思いますか。（複数回答可）



★ 《その他意見》

- ・「ごはん少なめができます」は、注文時に声をかけるより、ポスターを提示したり、メニューに表記する。ドギーバックはお店側が衛生面を心配するので難しいのではと感じる。
- ・料金も少なくすべき。
- ・持ち帰る場合、生もの以外で加熱調理してある物であれば良いと思う。
- ・食べ残したものは、肥料にしてはどうか。

【問8】 年末年始の資源物とごみの収集日の認知度を把握するために伺います。次のうち、現在の年末年始の資源物とごみの収集日はどれだと思いますか。



【問9】 今後は、地球環境全体を視野に入れ、「ごみをつくらない社会」「市民・事業者・行政が協力し合える関係」が必要だと思われます。私たち一人ひとりが、資源を大切にし、環境に極力負担をかけない生活スタイルにしていくとともに、そうした気持ちを実際に生かしていかなければなりません。『実現に向けての御意見』や『これからの決意』、『わかっているが、なかなかできないこと』などがございましたら、御自由に御記入ください。

(1) 実現に向けての御意見

- 手間がかからないようにして欲しい。
- 汚水を出さないようにするのも大切だと思う。
- 分別しやすいように、ミックスペーパー、プラスチック等、マークなどを付けて欲しい。
- 年齢と共に買い物に出かける回数が少なくなり、買物に行くと結局まとめ買いをしてしまい、必要ない物を買ってしまう。無駄をなくすために、買う物を前もってメモして行くよう心掛けている。
- なるべく袋入り野菜を購入しない。(バラ売りを推奨する)
- 飲食店は、食べ残しの持ち帰りができるようにする。
- 日頃の習慣を変化させるのは難しいが、変化させることで得になること、社会に役立つことでメリットが明確になる発信・情報共有があれば消費者や環境に良い行動を促せると思う。
- 6年間ほど英国で生活した際、環境に対する考え方、生活の違いをととても感じた。大型スーパーの駐車場には、必ずあるリサイクルボックス。過剰包装はしない、という姿勢。生活の中であたり前になるような生活様式に変えていく努力が必要だと思う。(目に付く所での広告など)
- 川崎市で毎日ごみの回収が行われていた頃を過ごしてきた。現在のように分別されるようになり、最初は面倒だと感じたこともあったが、必要なことだということがわかり、実践していく中で、分別が当たり前の生活になり、時代に対応していくことの大切さがわかった。まだまだ改善すべきところ、取り入れることが多くあるので、少しずつ日々の生活を成長させていきたい。
- ごみ減量は、市民各自の自覚と実行が重要である。プラ袋減量・低減は賛成するが、元化学メーカーに勤めていた身としては、その便利さを享有してきて環境に及ぼす影響を軽視して来たことを自戒する。しかし、自然由来資源を原料として使うとなると、経費が過多になるのが懸念される。
- ごみを出さないために、土に埋めるリサイクルやエコに取り組み町内会や自治会でも広く情報を共有して市民が事業者と行政に協力し合える地域社会を目指していきたい。まずは自分が行動していきたい。
- 普通ゴミは量が少なく、プラスチックは週1回の回収のせいか大量に出てしまい、食品のパックや包装にプラが多いことを実感している。これから社会を担う子供の教育が大事。少しでもゴミの量が減る対策へ。また、区や町内ごとで量の減少、競争で意識してもらおう。
- ゴミ出しをしている中で、圧倒的に多いのは石油から作る類。この器の代替品の研究が急務だと思う。
- プラスチックの容器を会社が作らないように、また紙の容器を利用する。
- 義務教育の中で今後の地球の未来の話をする時間(授業)を定期的に設け、美しい地球に住み続けるにはどうすれば良いかを徹底的に教える。(資源を大切にする、食物の大切さ(命を頂いている)、地球温暖化問題)国語や算数も重要だが、それと同じくらい環境を学ぶ授業を作るべきだと思う。家庭で教えるべき事かもしれないが、物を大切にしない親が多い。そんな親元では本当の意味の大切さを教えられないと思う。

(2) これからの決意

- 手間を惜しまない。
- ショッピングカートを利用して（マイバック共に）レジ袋等の利用をなくすようにする。
- 自宅冷蔵庫の品質管理の徹底。
- 長く着られる（使える）物を購入し、不用品はリサイクルへ。
- 食べ物の調達方法を工夫する。
- 今すぐ自分にできる、資源物とゴミの分別や節電、グリーンコンシューマー10原則を実施する事を頑張っていきたい。
- ゴミ低減のために良いことはすぐ実行する。
- 地球温暖化を少しでも遅らせるために、小さな取り組みも一人ひとりが助け合い、協力する社会構築を目指して、ゴミのリサイクルやエコ活動を増やしていきたい。
- 私自身も「ごみをつくらない社会」を目指していこうと思っている。
- 生ごみを水切りしたり、土に返したり取り組みたいと思うが、即実行とは中々難しい。相談会などに参加して、少しずつ家族の理解も得て取り組みたい。
- 余分なものを買わない、食べる分しか買わない、分別はしっかりやる。
- ごみの分別の徹底、生ごみを減らす為の料理を中心に組み組んでいきたい。
- 野菜は皮ごと使う。野菜は冷凍してつかう。野菜は新聞紙に包んで保存。買い物はメモを持っていく。

(3) わかっているが、なかなかできないこと

- ゴミの分類。分別ゴミ箱等家庭用のゴミ箱を提供して欲しい。（有償で安く）
- できないから料金をとる→逆効果だと思う。
- 安いと思い飛びついででの購入。
- コンポストの手間と費用面に負担がある。生ごみはこまめに捨てているので、あまりコンポストを利用する機会がない。
- どの商品が環境問題に取り組んでいるメーカーのものか…などを考えられず購入したりしてしまうので、常に念頭に置く努力。
- マイカーを購入時に、環境優先で選択できず、好みで選んでしまうこと。
- ついつい値段を見て、購入してしまうことがまだたくさんあり反省している。商品パッケージや家電製品などの紹介や機能説明を読み、また店員さんなどの意見を聞きながら、値段だけでない付加価値も考えていかなければならないと感じている。
- 店に買物に行った折には、購入予定のないものをついカゴに入れてしまう癖があり、少しずつ減らしていきたい。
- 他の人がルール無視したゴミ捨てしているのを注意するのが難しい。
- お買い得になっているのをつい買ってしまうので、惣菜品を控え、手作りを心がけたい。
- リサイクル商品や環境に良い商品の購入。少し割高で売られている為、他の安い商品を買ってしまう。

(4) その他御自由に御意見を申し上げます。

- 消費者側での対応を求めるだけでなく、企業側の対策、対応等も教えて欲しいし、要請して欲しい。
- 年末年始のごみの収集のことを聞かれ、全く認知していなかったことを恥ずかしく思った。集合住宅なので、掲示板に年末年始についての案内が貼られるのを確認するくらい。収集してくださる方に感謝しつつ、知っておきたいと思った。
- 自粛期間中に部屋の整理をしたため、相当量のごみが出た。粗大ごみも1~2か月待ちだった。この間、市のごみの量も相当増えたのではないかと申し訳なく思った。でも、その時市から発行されているごみについてのパンフレットを家族中でしっかり読み、分別についての知識がかなり高まった。今後は計画的に、そして正しく分別していこうと家族全員心に決めている。
- 市でいろいろなゴミ減量の取り組みをされているのに敬服する。この取り組みをもっと多くの人に訴え、実行に結び行ける方法が難しい。今、自治組織も高齢化が進み、これらの運動に呼応して進めるにも高齢化がネックとなっている。実際、行動力のある若い人をどう捉え運動に自主参加できるか知恵を絞っていききたい。
- 分別になってからプラゴミは増えた。生ゴミはスーパーのビニール袋1つで出せるようになった。市民、町内会自治会がゴミ減量にリサイクルと力を入れて取り組むことができる社会になるために、小さな努力をしていける世の中になれば良いと思う。ルールを守り、皆が自分さえよければいいと思わない。地域交流も回覧板などをフルに活用して広く伝えられたら良いと思う。
- 家ではほぼ私がゴミの分別をしている。主人や子供は面倒なのかゴミを放置しがち。(特にプラや紙類) ずっと気になっていることで、職場での分別が疎かのような。コンビニのゴミ箱も徹底されていないような。分別って結構大変な作業なので、疎かになりがちなのか。
- 家庭のゴミ減少も大事ですが、地球上の戦争、そのための毎日の訓練にどれだけのCO2が排出されているか、その戦争を仕掛けて武器ビジネスを行っている国がやめない限り、地球は壊れていく。
- 私が一生懸命プラごみを分別していた時、主人に「プラごみのリサイクルにはお金がかかるから実際は普通ごみと一緒に燃やしちゃっているらしいよ」と言われた。ラジオかネットの情報だと思うが、実際はどうなのか。それでも私はリサイクルを信じて分別しているが、主人のように思っている人は少ないと思う。リサイクルの様子を区役所モニターで流すなど、工夫が必要だと思う。
- プラスチックの容器が多いので、紙の容器に変えた方がよいと思う。(お弁当、お菓子が多い) コロナで多くなったとテレビでやっていた。
- カップヌードル、ペットボトル、プラスチックの容器をつくらないことが一番だと思う。生ごみについて、レストラン(飲食店)など皆で協力して肥料にしてはどうか。スーパーでプラスチックの回収をやってほしい。

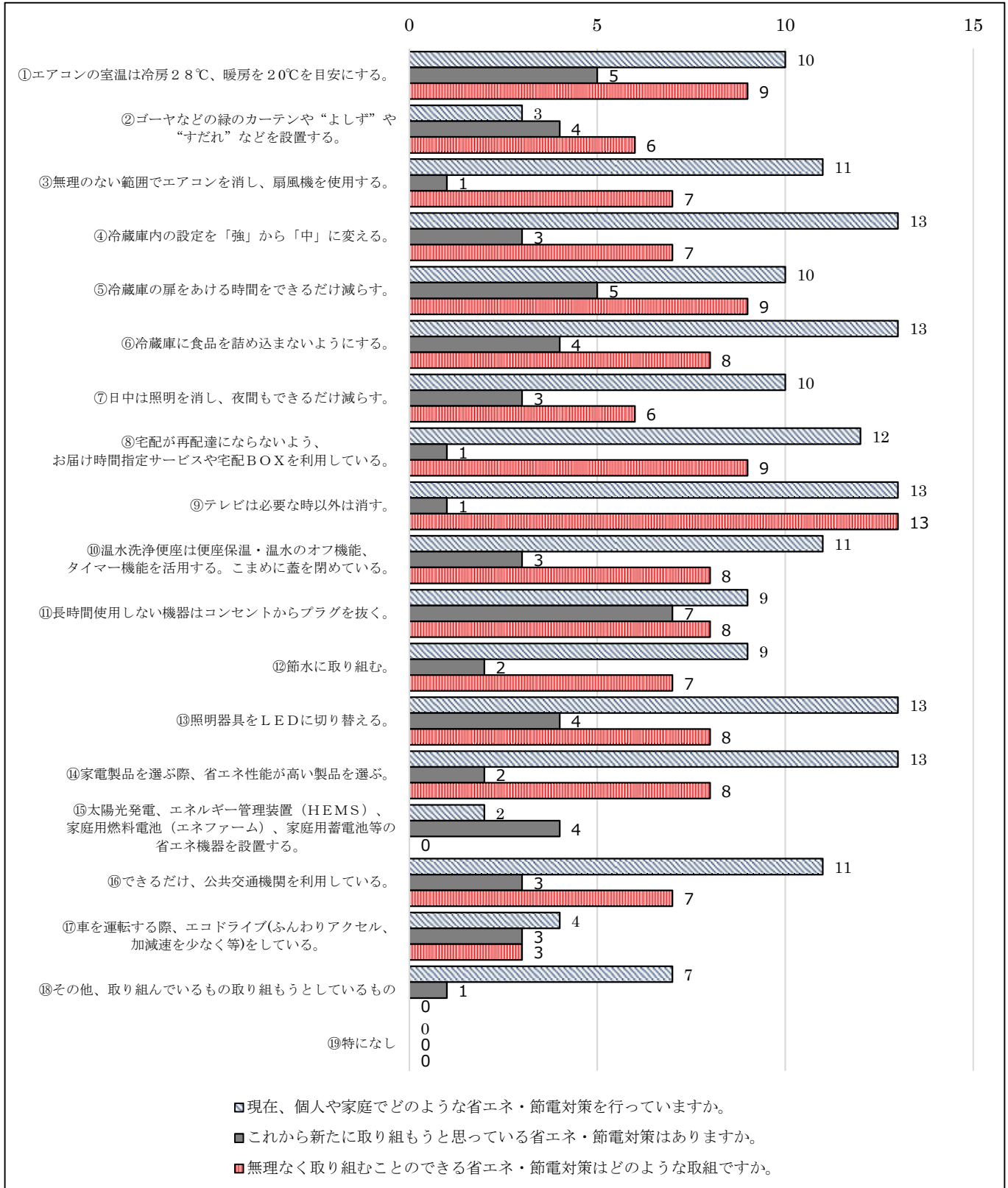


Ⅱ 省エネ・節電等について

【問1】 日常生活において省エネや節電を意識していますか。

- ① 非常に意識している 50%
- ② ある程度意識している 44%
- ③ あまり意識していない 6%
- ④ 意識していない 0%

【問2】 家庭で取り組んでいる（取り組む予定）の節電・省エネ対策についてお聞きします。



★その他（具体的に）

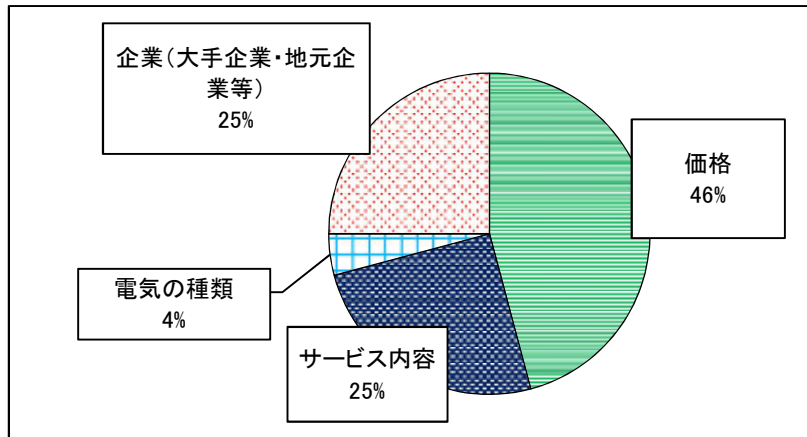
- 着る物を機能性の高いものになっている。
- 夏のクーラーは使うがエアコンの暖房は使わない。ホットカーペットを必要な時だけ使い、できるだけ重ね着などで過ごす。太陽の暖かさを活かす。テレビ等の待機電力は使わず毎日コンセントを抜く。洗濯はある程度まとめ計画的にする。
- 家の中でも服装で調節したり、寒いときは体を動かして体温をあげたりすることもある。
- 洗濯にお風呂の残り湯を利用する。使っていない部屋の照明はOFF。照明器具はLEDに切り替えた。
- 夏は薄着、冬は厚着で体調管理。風呂の湯は少な目にためる。
- エアコンの湿度を下げずサーキュレーターを使用したい。
- 家のカーテンを2重にして直射日光を反射するカーテンを使用している。屋根をリフォームして天然石付鋼板屋根材にした。
- 圧力鍋を使い、煮込む時間を減らしている。



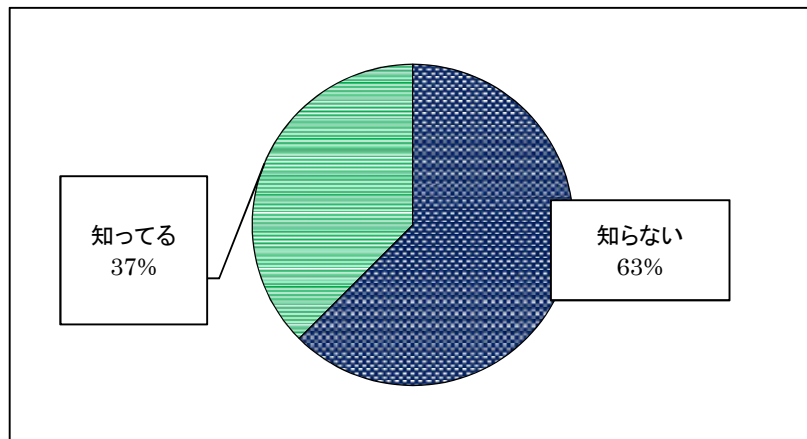
エコちゃんず

【問3】 使用している電力会社や家電製品について、お伺いします。

(1) 平成28年4月から、一般家庭等すべての需要家が電力会社を選べるようになりましたが、電力会社を選ぶ際に何を重視しますか。(複数回答可)



(2) 家電製品には、省エネ性能を★5つから1つまでの5段階で表示された「統一省エネラベル」の記載があることはご存じですか。



(3) (2)で ①知っている と答えた方にお伺いします。家電製品を購入する際、「統一省エネラベル」が記載された商品を購入したことはありますか。また、購入した商品は★いくつでしたか。

- ① 購入したことがある 5名
(★1つ 2名 ★5つ 3名)
- ② 購入したことがない 1名

統一省エネラベルとは？

小売事業者が製品の省エネ情報を表示するための「統一省エネラベル」制度が2006年10月から開始されました。

制度内容は、製品個々の省エネ性能を表す省エネラベル、市販されている製品の中で相対的に位置づけた多段階評価、年間の目安電気料金（または目安燃料使用量）などを製品本体またはその近傍に表示するものです。

「統一省エネラベル」が表示される製品は2018年4月1日現在、エアコン、電気冷蔵庫、電気冷凍庫、液晶テレビ、電気洗濯機、蛍光灯器具（家庭用）です。

①年度
②省エネラベル
③年間の目安電気料金

④フロンマーク
⑤多段階評価

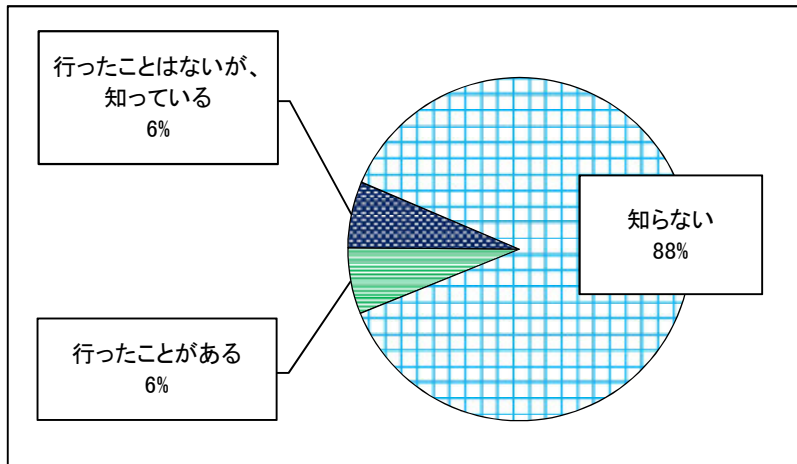
出典：資源エネルギー庁ウェブサイト

(https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/general/replacement/enelabel/)

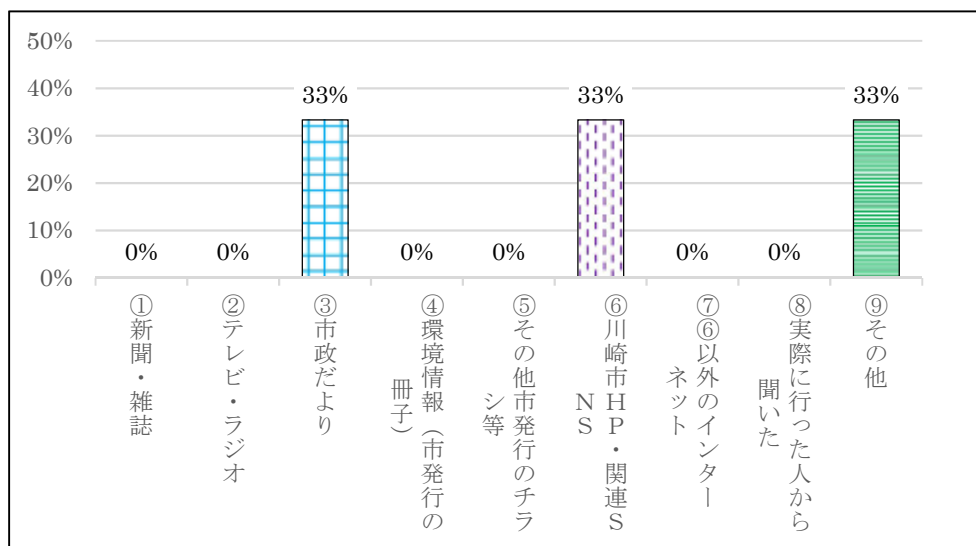
のページをもとに作成

【問4】 川崎市では、平成 22 年 12 月から川崎市地球温暖化防止活動推進センターを指定し、地球温暖化防止対策の普及啓発を推進しています。地球温暖化防止活動推進センターでは、高津市民館内に設けた情報発信拠点「CC かわさき交流コーナー」を運営し、地球温暖化防止対策に関する取組の相談・パネル展示・講座の開催等を行っています。

(1) CC かわさき交流コーナーについてお伺いします。



(2) (1)で ①行ったことがある 又は ②行ったことはないが知っている と答えた方にお伺いします。どこで『CC かわさき交流コーナー』の情報を得ましたか。



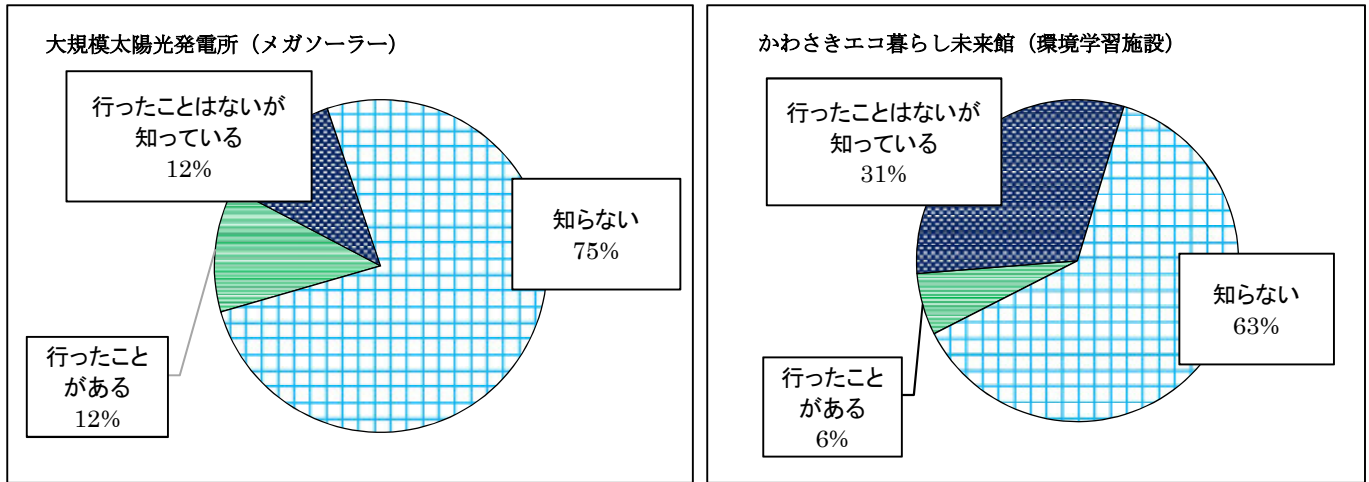
★（その他具体的に）

- ・ノクティに行ったときに知り見学した

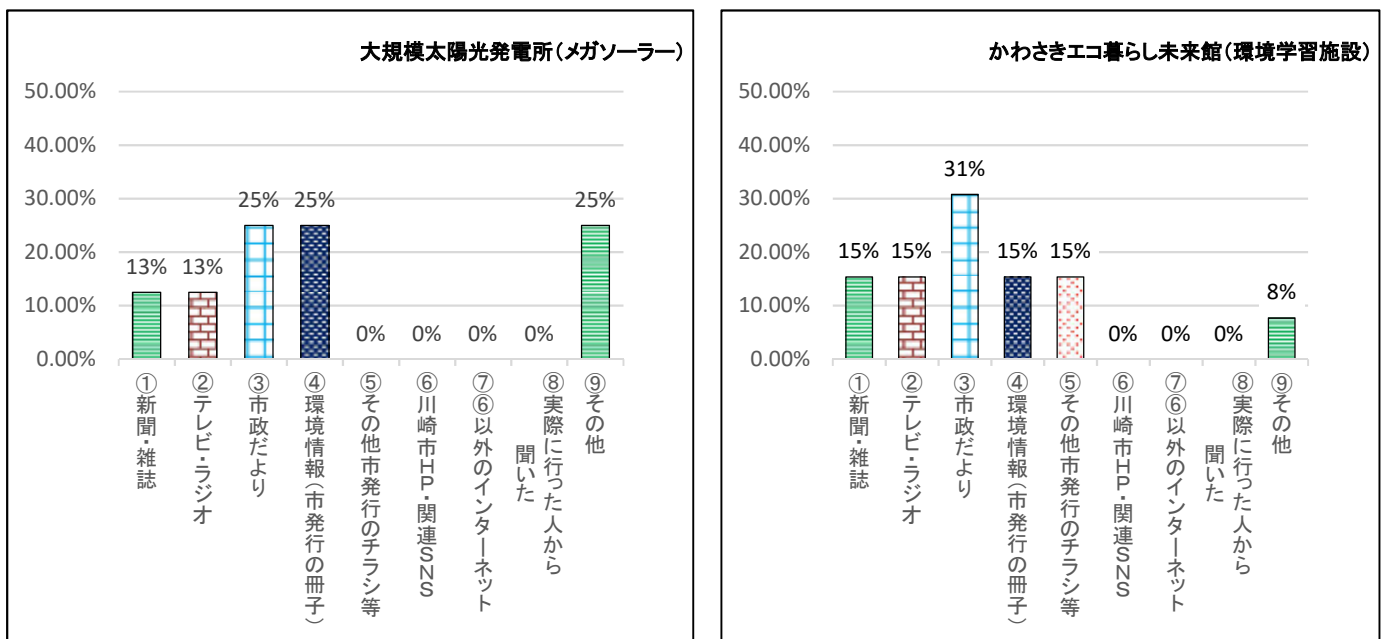


【問5】 川崎市内には、合計出力約2万kwの大規模太陽光発電所（メガソーラー）があります。また、浮島町にはメガソーラーを始めとした再生可能エネルギーや、地球温暖化、資源循環について体験型の展示で学べる環境学習施設「かわさきエコ暮らし未来館」があります。

(1) 川崎市にある大規模太陽光発電所（メガソーラー）、かわさきエコ暮らし未来館について質問します。それぞれについてもっとも近いものを選んでください。



(2) (1)で ①行ったことがある 又は ②行ったことはないが知っている と答えた方にお伺いします。どこで各施設の情報を得ましたか。



★（その他具体的に）

- ・廃食用油で走るバスに乗る機会があり、見学、説明を受けた。（メガソーラー/エコ暮らし未来館）
- ・生協見学。（メガソーラー）



【問6】 省エネ対策や節電等についての御意見等ございましたら、自由に記入して下さい。

- スーパー等冷蔵庫が常備されている施設の冷房は、効きすぎて寒くてたまらない。場所により、細めに空調を調整できることが省エネにつながると思う。
- 無理なく啓蒙活動を続けてください。
- もっと意識をしないといけないことなのに、有事の時にしか考えていない事を反省している。なかなか市庁舎などに出向くことはないので、日常生活で目にとまる所への指示等お願いしたい。
- 省エネや節電は私達個人にとっては節約になり、おおいに取り組んでいるところであるが、たとえその成果はわずかであっても地球環境に大きく影響していくものだと思えているし、そうしていかなければならないと時に肝に銘じている。今後も少しずつでも努力を続けていきたい。
- 近くの中学校は照明をつけっぱなしのまま職員が全員退出していることが多く気になっている。
(一晩中教室や廊下体育倉庫等が点灯している)市税で賄われているというだけでなく節電という点からも、市の施設は特に厳重に管理されるべきだと思う。
- 省エネが地球温暖化の歯止めとなることに思いを馳せ、自然災害防止のためにも、もっともっと積極的に省エネ対策や節電等に取り組んでいきたい。
- 省エネもコツコツ積み重ねだと思ふ。無駄を少しずつ減らしていく努力が大切だと思つて実践している。
- 省エネや節電はとても大切なので、これからも取り組んでいこうと思っている。
- ゴミを出さないことが大事だとは思っているが、便利な現代で生活する中で、無駄だと思ふ事ばかり。さらに周囲も分別意識が低いのか、思つていても会話の中で話題になることがほぼなく、健康被害などが起こらないと良い方向に行かないのか。行われているさまざまな対策で知らなかったことが多く、市政だより等に目を通してはいるつもりだが、全く他人事だったのか反省している。私のような市民は少なくないのではと思う。
- 節電の為、夏のエアコンをなるべく我慢していたが、近年の暑さが酷い為、使用頻度が上がってきている。節電したいが、熱中症も怖い。悩ましい。

